No.06-③

あだち野のむかし物語

ずーっと、ずーっと、昔ナイ。

お杉さんの伊勢参り③

旅の道々お杉は、うれしそうにはしゃいでおりました。二人は無事に伊勢に着きました。お杉は、長いこと社の前に額突いていましたが、やがて静かに立ち上がると、辺りに立っている杉木立のあいだを、さも懐かしそうに歩き回りました。

「あなたさま。」

お杉は精顕の前にくると静かにうなだれていました。

「私、一生に一度の望みをかなえて頂きました。でも、もう一つ、もう一つだけお願いがございます。」

「いってごらん。」

するとお杉は、一度杉沢の里へ帰りたいというのでした。そこで、やさしい精顕は、お杉を連れて陸奥に旅立ったのです。

精顕とお杉が初めて出会ったのも秋でしたが、二人がその杉沢へ帰ってきたのも秋でした。杉の枝にそよぐみどりの風、山々を染めるもみじの錦。杉沢の里に落ち着いたお杉は、魚が水をえたように生き生きとしてきました。

精顕は年をとってなくなり、なきがらは杉の木の根元に葬られました。するとその日から、お杉も一杯汲んできてください。」

「あなた、すみませんが泉の水を姿を消してしまったのです。

ある月の明るい夜、お杉は精顕にいいました。この夜半にと、思いましたが手桶を下げて外に出ました。

精顕が水を汲んで戻ってくると、家の中から元気な赤子の泣き声が聞こえるではありませんか。急いで家の中に駆け込んだ精顕の目にうつったのは、お杉に抱かれた玉のような赤ん坊でした。

「ご覧ください。あなたにそっくりでしょう。」

精顕はその夜、都の家に長い手紙を書きました。お杉と生まれた赤子と三人、杉沢の里で暮らすことにしたとの便りでした。

精顕もお杉も幸せでした。ただ一つ不思議なことは、お杉が何才になっても若い時そのまま、いつまでも美しかったことです。

あだち野のむかし物語
安達地方広域行政組合
ウェブサイト

二本松警察署からのお知らせ

犯罪発生状況(令和７年１月～７月末)

		二本松地区	安達地区	岩代地区	東和地区	不明等	合 計	前年対比
侵入盗	空き巣		1	1			2	
	出店荒し	1	1				2	
	その他	7(1)	3(1)		3		13(2)	8
非侵入盗	万引き	10	11				21	8
	車上ねらい		1(1)				1(1)	－4
	その他	21(2)	6	14(1)	4	1(1)	46(4)	－9
自転車盗		7(4)	1		1		9(4)	6
器物損壊		3	1				4	2
住居侵入		3		1	1		5	4
その他		17(5)	4	1	1	7(5)	30(10)	12
合 計		69(12)	29(2)	17(1)	10	8(6)	133(21)	27
前年対比		29	－3	－5		6	27	

※()は７月の発生件数

地域で子供の見守りを!!

日常生活の中、気軽にできる「ながら見守り」活動の協力をお願いします。

ニセ警察詐欺が多発！

警察は自動音声ガイダンスやショートメール・SNSで連絡は絶対しません！
こんな話があったら詐欺です。

⚠ このままではあなたは逮捕される
⚠ あなたの名義の携帯電話、通帳が犯罪に使われている。
⚠ あなたの資産を保護する。

－POLICEアプリふくしま登録募集中－
福島の安全安心を守るアプリです。
ＱＲコードから登録してください。
二本松警察署電話　23－1212